



中级导游员系列丛书

ZHONGJI DAOYOU YUAN XILIE CONGSHU

Japanese 日语

国家旅游局人事劳动教育司

中国旅游出版社

中级导游员系列丛书

日 语

国家旅游局人事劳动教育司 编

中国旅游出版社

责任编辑：殷 钰

责任印制：李崇宝

图书在版编目 (CIP) 数据

日语/国家旅游局人事劳动教育司编. — 北京: 中国旅游出版社,
2004.5

(中级导游员系列丛书)

ISBN 7-5032-2359-6

I. 日... II. 国... III. 导游-日语 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2004) 第 040818 号

书 名：日语

编 者：国家旅游局人事劳动教育司

出版发行：中国旅游出版社

(北京建国门内大街甲 9 号 邮编：100005)

http: //www. cttp. net. cn

E-mail: cttp@cmta.gov.cn

排 版：北京中文天地文化艺术有限公司

印 刷：河北省三河市文化局灵山红旗印刷厂

开 本：850 毫米×1168 毫米 1/32

版 次：2004 年 5 月第 1 版

2004 年 5 月第 1 次印刷

印 张：13

字 数：321 千

印 数：1-10000 册

定 价：25.00 元

版权所有 翻印必究

中级导游员系列丛书编委会

(按姓氏笔画为序)

王红平	杨红英	冯冬明	李悦中
李 曦	陈志学	陈学东	余昌国
和建锁	周 群	姚界平	秦明吾
崔素香			

《日 语》

主编：秦明吾

编者：秦明吾 李翠霞 路 邈 潘小多

审定：天津信礼

前 言

导游员是我国旅游从业队伍重要的组成部分，他们在传播我国的先进文化、宣传社会主义精神文明、展示社会主义建设成就和宣传我国旅游业等方面发挥着积极作用。

随着旅游业的迅猛发展，我国导游员队伍不断壮大。为了提高导游员的素质，根据国务院颁布的《导游人员管理条例》，国家旅游局于1989年开始实行全国导游员资格考试，已为我国旅游行业选拔和储备了一大批职业道德良好、业务能力强、爱岗敬业的导游员队伍。截至2003年12月，全国已有30万人获得导游员资格证书。

2008年北京奥运会和2010年上海世博会的召开，以及到2020年我国要实现世界旅游强国的宏伟目标，对导游员的职业道德水平和业务素质提出了更高的要求。加强导游员的继续教育和培训，全面提升导游员的综合素质，将成为今后旅游人力资源开发中的一项重要工作。为此，国家旅游局人事劳动教育司于2003年专门组织部分省、市旅游局和有关院校的专家共同编写了这套中级导游员系列丛书，供各地旅游部门、旅行社企业和导游服务管理机构培训考核参考使用，也可作为导游员自学和旅游院校学生学习的参考书。

这套丛书共有四本，即《导游知识专题》、《汉语言文学知识》、《英语》和《日语》。其中，《导游知识专题》包括中国传统

文化、宗教文化、建筑文化、饮食文化、武术文化、中医学、陶瓷鉴赏、珠宝玉石鉴赏、游客心理和自然旅游资源十个专题；《汉语言文学知识》包括古文名篇、古今诗词名篇、楹联名句和导游语言应用四个方面的内容，并附有导游工作中常见易错字、易错音列表；《英语》和《日语》两本书收集了与导游员工作密切相关，内容涉及我国主要客源国概况、环境保护、人口、医疗保险政策及建设成就等内容多篇短文。

这套丛书认真总结了我国导游培训及考试工作的经验和旅游业发展的特点，紧密结合导游员工作的实际需要，坚持理论知识与导游实务相结合，强调导游综合素质教育，不仅告诉导游员“是什么”，同时还回答“为什么”；不仅要求导游员知其然，还要知其所以然。同时，本套丛书在内容设置、体例安排、文字表述等方面较以往类似用书有较大的突破，力求突出实用性、针对性。

这套丛书在编写过程中，得到了上海市旅游事业管理委员会、陕西省旅游局、四川省旅游局、江西省旅游局、云南省旅游局人教处和北京第二外国语学院日语系、北京旅游学院，以及西安外国语学院旅游学院的大力支持及帮助，在此一并表示感谢。由于时间仓促，不当之处在所难免，敬请广大读者批评指正。

国家旅游局
人事劳动教育司
二〇〇四年二月

目 录

第一单元	文化というもの.....	1
第二单元	のし袋とインターネット.....	21
第三单元	無常の悟りと不死の夢.....	38
第四单元	暮らしの新スタイル.....	59
第五单元	首都の新交通.....	78
第六单元	ITツールでつながる社会.....	95
第七单元	砂嵐と戦う中国.....	113
第八单元	家を出て行く日本女性と帰ってくる 中国女性.....	132
第九单元	親と子の揺れる思い.....	151
第十单元	老いて楽しむ.....	166
第十一单元	チベットを歩く.....	184
第十二单元	少林寺——禅と拳法の聖地.....	200
第十三单元	曲阜.....	218
第十四单元	美味しい中国.....	237
第十五单元	WTOは中国に何をもたらすか.....	258
第十六单元	開催への熱い夢.....	276
第十七单元	日本の詩歌.....	295
第十八单元	漢字が表す2つの世界.....	314
第十九单元	手振り身振りの意味.....	330
第二十单元	敬語とその使い方.....	348
参考答案		376

第一單元 文化というもの

【本文】

最近、文化と言うと人々が熱心に関心を寄せるようになりました。行政の文化化とか産業の文化化とかといった言葉も聞かれます。ひと昔前までは国や地方自治体も、道路を作る、橋を架けるといったことには予算を大きく組みましたが、文化という地域経済の発展にはあまり関係がないということで、お金を回さないというのが普通でした。ところが、現在は反対に、むしろ文化には積極的に予算をつけるというように変わってきました。

企業の文化活動も活発に行われ、時代とともにいよいよ盛んになっています。わたしたちが大事にするようになったその「文化」とは、いったいどのようなものでしょうか。

文化という言葉は、英語のカルチャーの訳語です。カルチャーは何よりもまず、「耕作」という意味です。耕し方は、暑い所と寒い所、湿地帯と乾燥地帯、山地と平地などでみな違います。作物も自然条件によって当然違い、したがって食べ物や食べ方も土地ごとに違ってきます。このように、土地ごとに異なる生き方の形式、もう少しはつきり言って土の匂いのする生き方、これが文化です。

例えば、今述べた土地ごとの食のほか、土地ごとの芸能や祭り、物産、宗教、風俗習慣、建築様式、歴史と伝統、言語など、その土地では生き生きとしている生き方、これが文化です。つまり、ほかの土地では必ずしもそうではなく、生彩を失ってしまう、植物のような性格のものが文化です。

旅先で美味しいと思い、お土産に持ち帰って家で食べてみると、必

ずしも美味しくは感じられなかったという経験は、よく味わいます。旅先では興奮していたりお腹が空いていたいたりして、まずいものでも美味しく思えてしまう、ということもあるかも知れません。しかし、土地の食べ物、食べ方は、やはり土地の空気の匂い、肌触りとか、土地の水や酒と深くかかわっていて、そこから切り離された食べ物は、その生命力を失ってしまう。だから美味しくない、というのが本当の理由でしょう。したがって、厳密に言えば、文化は輸出も輸入もできません。輸出入されれば、新しい土地に根づかなかつたり、変容したりします。

例えば、キリスト教はなかなか日本に入り込めませんし、また個々人の精神の自由、解放を追求したインドの仏教は、日本に入って祖先崇拜の宗教に変わりました。さらに文化は常に地方的なもの、つまり地方文化であって、中央文化ではありません。東京でも最近では三社祭りとか、浅草のほおずき市その他、土の匂いのする祭りが再び活発になりましたが、これらは東京の地方文化です。

「土の匂い」のするものが文化の第一の特性だとすれば、第二の特性は「自分でする」ということです。自分で耕してこそ耕作で、人の耕しているのを見るだけでは、耕作にはなりません。自分で食を作り、自分で土地の絵を描き、土地の自分たちで演劇をやり、音楽を演奏し、祭りをやり、皿を焼き、土地の歴史を調べたり資料を集めたりする。それが文化の第二要件です。

もちろん、音楽の名演奏を聞いたり名画に接したりする経験も大事です。しかし、これらに触発されて、自分なりに創造の世界に分け入り、自分なりに手足を頭を働かせてこそ、土地の文化は豊かになり、現代人の身体と心の種となり、生きる自信と誇りを持てるようになるのです。

フランス人が自分たちの文化に自信と誇りを抱くのも、決してヴェルサイユ宮殿やルーブル美術館、ミレーの絵その他の文化遺産が豊富だからだけではありません。それらは過去の人たちが作ったもの

で、先祖が誇るべきものです。そうではなくて、今生きているフランス人が日々手間暇かけて美味しい家庭料理を作るという、その生き方の形式が上質だからこそ、彼らは自分の文化を誇りにします。

また、その料理を土地の人とかフランス人だけがよしとしているのではなく、ドイツ人もアメリカ人も日本人も、そして世界中の人々が美味しいと思うからこそ、彼らは自分の文化に自信を抱きます。

文化の第三の特性は、「楽しむ」ということです。収穫の喜びがあるからこそ耕すことに意味があるように、楽しいからこそ文化の意味があります。例えば、アフリカのスワヒリ語を学ぶ場合、ビジネスに必要なだからやむなしと努力するのは、いわゆる「お勉強」です。ところが、日本語と違う発声とか発想が面白いと思い、とにかく学ぶのが楽しい時、それは文化となります。楽しくなければ、文化ではありません。俳句であれ三味線であれ尺八であれ踊りであれ、やるのが楽しくてしかたがないとなれば、その人は文化を営んでいるのです。

土の匂いのするものを求め、そのために自分の頭を手足を働かせ、またそのことを楽しむという意味での文化を、誰もが積極的に求めるようになったのが現代です。

【応用会話】

金 日本語学科3年生(女)

白木 中国語学科3年生(女)

莫 日本語学科3年生(男)

出頭 中国語学科3年生(男)

白木 「金さん、先週の木曜日は交流の日だったでしょう。どうしていなかったの。」

金 「ごめん、ごめん。先週ね、実習で旅行社に行ってたの。」

白木 「で、どうだった。楽しかった？」

金 「楽しかったなんてもんじゃないわよ。ショックだったわ。」

出頭 「どうしてだい。金さんの日本語はトップクラスだから、通訳

はバッチリだったんだろう。」

金 「そりゃ、ちゃんと訳せだし、お客さんも『きれいな日本語だね。』って褒めてくれたわ。」

莫 「じゃ、最高じゃないか。」

金 「そうじゃないの。その後が悪いのよ。『君の日本語は正しいけれど、日本語らしくないね。』って言われたわ。それをマジで言っているんだもん。めっちゃくやしかったわ。」

白木 「でも、それは言えるかもね。わたしだって、よく『それ中国語らしくないよ。』って言われるもん。」

莫 「『正しい日本語』と『日本語らしい日本語』っていうのは、別問題なんだね。」

出頭 「文法的に正しくても『らしくない』っていうのは、その国の文化、風俗習慣と深い関係があるようだね。」

白木 「大いにあると思うわ。例えば、先生に『みなさんは日本語の敬語について知っていますね。』って聞かれたとき、莫さんだったらなんて答える？」

莫 「そうだなあ。『会話の先生が、先週敬語についてご説明下さったから、よく知っています。』って答えるかな。」

金 「それで正しいと思うけど。」

白木 「正しいけど、わたしだったら『先週教われました。』って答えるわ。」

出頭 「そうだね、日本人は自慢するようなことは、言うべきではないと思っているから『よく知っています。』なんて言わないね。」

莫 「微妙な違いがあるんだね。日本人は相手の気持ちを考えたものの言い方をするみたいだね。よく贈り物をするときに『つまらない物ですが……』とか『粗末な物ですが……』とか言うね。」

金 「食事の後で『ご馳走さまでした。』って言うのと『お粗末さまで

した。』って返ってくるのもそうね。」

白木 「それは、『いくらご馳走でも、お口に合ったかしら。』っていう心遣いがあるからなのね。」

出頭 「日本語の中にはぼかした言い方や曖昧な表現も多いんじゃないかな。」

莫 「そう言えばそうかも知れないね。『かも知れない』、『はずである』、『ではないかと思う』、『ではないだろうか』などをよく使うね。断定的な表現を避けてしまうんだね。」

白木 「『でも』、『ばかり』を使った表現も多いわね。『お茶でも飲みましょうか。』

とか『みかんを千円ばかりください。』とか言うわね。」

出頭 「『どちらにお住まいですか。』って聞かれた場合、横浜に住んでいたら、『横浜です。』って言えばいいのに、『横浜の方に住んでいます。』という答え方をするね。はっきり言うとか角が立つと思っているのか、日本人はそういう言い方がとても好きだね。」

白木 「人に恩を着せるような物の言い方もあまりしないわね。『わたしが通訳をしてあげます。』なんて言わないで、『わたしが通訳をさせていただきます。』って言うわね。」

金 「そうそう、さきおとといだったかしら、杉浦先生の奥様とお嬢さんが日本からいらっしゃったので、お宅に伺ったら、先生が『お母さん、コーヒーでも出して。』っておっしゃったから、『先生のお母様もいらっしゃったのですか。』ってお聞きしたら、『母はとっくの昔に亡くなっているよ。さっきは家内に言ったんだよ。』ですって。赤恥かいちゃったわ。」

白木 「日本人は、子供ができるとお互いに『お父さん』、『お母さん』って呼ぶし、孫ができると『おじいさん』、『おばあさん』って呼ぶのが普通だわね。」

莫 「外国語をマスターするのは、生易しいことではないね。言葉

の深層にあるその国の文化も知ることが大切なんだね。」
 金 「中国と日本の文化の違いを調べて、レポートにまとめてみな
 い。」

出頭 「そうだね。みんなで手分けして、資料を集めよう。」

【新出単語】

- | | | |
|---------------------|---------|-------------------|
| ②ひとむかし (ひと昔) | [名] | 往昔, 昔日, 过去 |
| ◎じちたい (自治体) | [名] | 自治体, 自治团体 |
| ②かける (架ける) | [他下一] | 架, 铺设 |
| ①カルチャー | [名] | 文化, 教养 |
| ◎こうさく (耕作) | [名・他サ] | 耕种 |
| ～ごと (毎) | [接尾] | 毎…… |
| ◎ぶっさん (物産) | [名] | 物产, 上产, 特产 |
| ◎せいさい (生彩) | [名] | 生动活泼, 生气 |
| ◎こうふん (興奮) | [名・自サ] | 兴奋, 激动,
激昂, 激奋 |
| ③はだざわり (肌触り) | [名] | 手感, 感觉, 印象 |
| ◎④きりはなす (切り離す) | [他五] | 割开, 割断, 割裂 |
| ◎げんみつ (厳密) | [名・形动] | 严密, 周密, 严格 |
| ②ねづく (根付く) | [自五] | 生根, 扎根 |
| ◎へんよう (変容) | [名・自他サ] | 变样, 改观 |
| ◎ちほうてき (地方的) | [形动] | 地方性的, 地区性的 |
| ④さんじゃまつり (三社
祭り) | [名] | 三大祭祀活动 |
| ◎あさくさ (浅草) | [名] | 浅草 |
| ④ほおずきいち (ほおず
き市) | [名] | 酸浆果集市, 酸浆节 |
| ③◎ようけん (要件) | [名] | 重要的事情, 必要的
条件 |

①めいが (名画)	[名]	名画, 有名的影片
⑥しょくはつ (触発)	[名・他サ]	触发
③わけいる (分け入る)	[自五]	拨开进去, 推开进入
②いだく (抱く)	[他五]	怀有, 抱
⑥ヴェルサイユきゅう でん (ヴェルサイユ宮殿)	[名]	凡尔赛宫
⑦ループルびじゅつかん (ループル美術館)	[名]	卢浮宫美术馆
①ミレー	[名]	米勒
②ほこる (誇る)	[自五]	夸耀, 自豪, 骄傲
⑥スワヒリゴ (スワヒリ語)	[名]	斯瓦希里语
①ビジネス	[名]	商务, 商业, 事务
③やむなしと	[副]	不得已, 只好
⑥はっせい (発声)	[名・自サ]	发声, 发音
⑥しゃみせん (三味線)	[名]	三弦
⑥しゃくはち (尺八)	[名]	竖笛, 尺八

【応用会話の単語】

⑥しらき (白木)	[名]	白木
①ばく (莫)	[名]	莫
①しゅっとう (出頭)	[名]	出头
③バッチリ	[副]	非常棒, 特别好
①マジ	[形动]	认真, 真, 诚实
③めっちゃ	[副・形动]	非常, 特别
③くやしい (悔しい)	[形]	令人懊悔, 让人遗憾, 窝心
③べつもんだい (別問題)	[名]	不同的问题, 另一回事
①かえる (返る)	[自五]	归还, 返还,

④ ころづかい (心遣い)	[名]	还原, 恢复 惦念, 操心, 关怀, 照料
② ぼかす	[他五]	使之暧昧, 使之模棱两可
◎ あいまい (暧昧)	[名・形动]	暧昧, 含糊, 不明确
◎ だんていてき (断定的)	[形动]	断定性的
① + ◎ おんをきせる (恩を着せる)	[组]	让人感恩, 叫人领情
⑤ さきおととい (一昨昨日)	[名]	大前天
② すぎうら (杉浦)	[名]	杉浦
◎ とつく	[副]	早就, 好久以前
◎ あかはじ (赤恥)	[名]	当众出丑, 丢人
⑤ ◎ なまやさしい (生易しい)	[形]	轻而易举, 特别容易
◎ しんそう (深層)	[名]	深层, 深处

【言葉の解釈】

一、地方自治体

又称「地方公共团体」。是指在国家范围内, 对居住在某一地区的居民具有行使法定的领导权的团体。一般分为「普通地方公共团体(都道府県・市町村)」和「特别地方公共团体(特别区等)」两种自治体。日本地方政权采取地方自治的形式, 统称为「地方自治体」, 由地方行政机关和地方议会两部分组成。战后日本新宪法专设「地方自治」一章, 规定地方自治的根本原则是: 都道府县市町村都设立议会作为议事机关; 地方各级议会议员和地方各级行政长官都由居民直接选举产生; 地方政府可以在法律范围内制定条例, 主管地方自治事物。日本现有 1 都 1 道 2 府 43 县。

二、三社祭り

毎年5月临近17日、18日的周六、周日两天，在东京都台东区的浅草神社举行传统祭祀活动。届时人们抬着放着三尊神像牌位的轿子在街上游行，之后献纳在神社大殿之前，祈求全家平安、农业和渔业丰收。

三、浅草のほおずき市

毎年7月9日、10日在东京都台东区的浅草寺内举行瞻拜观世音的四万六千日（しまんろくせんにち）庙会。据说在这一天去拜观音，可得到相当于参拜了四万六千日的功德。自江戸时代开始，这一天会聚来很多人。届时在浅草寺内举办酸浆果集市，作为庙会的吉祥物出售，所以被称作「浅草のほおずき市」。

四、やむなしと

副词。「やむなく、しかたなく」之意，相当于汉语的“无奈之下、迫不得已”。比「やむなく」文，现代口语中多用「やむなく」。

例：

- △ 好きなタイプではないけれど、親の立場を考慮して、やむなしと見合いに行った。
- △ 勉強が好きというわけでもない。資格をとらないと昇進は難しいから、やむなしと勉強をしているのだ。

【文 型】

一、～反対に～（～とは反対に～）／相反……、与……相反……、……而……

例：

- △ 父は酒が一滴も飲めない。反対に母はとても酒に強い。

- △ 弟が有名になっていくのとは反対に、兄の人気は衰えてきた。
- △ 山田さんが晩年いい作品を残したのと反対に、若くして賞をとった田中さんはその後ぱっとしなかった。

二、～ごとに～

1. 接在表示时间、距离、次数等名词或动词之后，是「そのたびに、そのつど」的意思，相当于汉语的“每……、每次……、毎回……”。

例：

- △ 秋の季節は、一雨ごとに冷えてくる。
- △ 道の両側に10メートルごとに街路樹が植えられている。
- △ その歌手が1曲歌い終わるごとに会場から大きな拍手が起こった。

2. 接在「人、家、グループ、土地」等名词之后，是「それぞれに、おのおのに」的意思，相当于汉语的“分别……、各自……”。有时也用「～ごとで」的形式。

例：

- △ 会う人ごとに「おはようございます。」とあいさつをする。
- △ 郵便配達人は、各家ごとに郵便物を配達します。
- △ 作物も自然条件によって当然違い、したがって食べ物や食べ方も土地ごとに違ってきます。

三、～なりに～（～なりの～）／和……相适应的、独特的……

例：

- △ わたしなりに努力はしてしましたが、力が及びませんでした。
- △ 人には人それぞれ、それなりの事情というものがある。
- △ この事態は役人だけに任せておくのではなく、わたしたち